

2025年 5月 17日(土) 14:00~16:00

@城南市民センター(4階視聴覚室)

福岡市の教育の「いま」と「これから」

~ これからの教育の在り方について考えよう ~

今日の目的

其の壱

「いま」福岡市の学校教育に何が起こっているのか、「これから」何が起こるのかを知っていただくこと

其の式

皆さん一人ひとりの中で、「教育って何だろう?」 「学びの本質とは?」と考えを深めていただくこと

1時間目の内容

Part 01

「そもそも教育って何だろう?」

Part 02

福岡市の学校教育の「いま」

Part 03

どんな改革ビジョンを描いているのか



「そもそも教育って何だろう?」

私が大事にしている 2 つの視点





「先を見通す」

「足元を見る」

「先を見通す」視点



△ 注意点 △

現代や将来の社会をうまく生きるための力を養うという視点だけでは…

「社会への自発的な従属」を促すことになってしまう

「社会」が先にきて、そこにアジャスト (適応) する 子どもを育てるという発想だけでは不十分

△ 注意点 △

あくまでも一番大事なことは…

子ども一人ひとりをまず第一に考えること

子ども一人ひとりの潜在能力や可能性を 最大限に引き出すことができれば 先の読めない社会を自分らしく生き抜いていける



「そもそも教育って何だろう?」

私が大事にしている 2 つの視点





「先を見通す」

「足元を見る」



「そもそも教育って何だろう?」





「国・社会」

の視点

「個人」

の視点

「国・社会」の視点

教育を通じて文化や歴史を学ぶことで 自分の国を好きになったり 誇りに思えるようになってほしい ||

"愛国心"

自分の国や自分が暮らす社会のために 貢献しようと思ってほしい

「国・社会」の視点

教育を通じて高めた能力を活かしてほしい

政 治 国をより良い方向に導いてほしい

モノづくり より高性能・高品質なモノをつくってほしい

科学技術 より便利で画期的なテクノロジーを発明してほしい

経済財政 より稼いでお金を使って税収を増やしてほしい

労働市場 より効率的に働いて生産力を高めてほしい

「国・社会」の視点

求められる 教育の在り方

その時々の時代背景

密接に 関係している 愛国心・忠誠心・規律 などが求められていた

先進国に

「追いつけ、追い越せ」

少子高齢化社会が進む 先の読めない社会

求められる教育

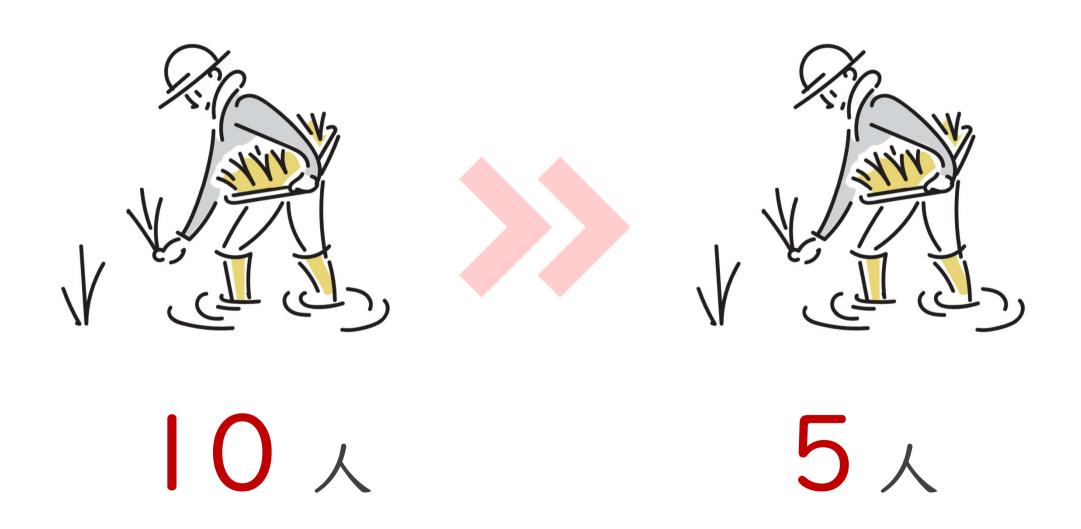
「お国のために」という思想や 集団規律を教え込む教育

"正解"をどれだけ多く覚える ことができるかが重視される

決まった知識や技能を教えて どれだけ記憶しアウトプット できるかを測る教育

どんな教育が求められる?

もしも働き手が10人から5人に減ったら…





対応策



減った分だけ 人を補充する



残った 5 人が 今までの 2 倍 頑張って働く



01 02 03 04

畑を売ったお金を元手にして







対応策



生まれてくる 子どもの数を増やす (+他から来てもらう)

一人ひとりの 生産性を高める

01 02 03 04

技術革新を 生み出せる 人材を育てる "尖った人材" (ぶっ飛んだ人材) を発掘する



対応策 🦠



結婚することや 子どもを持つことは 個人の価値観に関わる 02~04に共通すること 一人ひとりの力を 最大化すること

だからこそ、これからの時代においては…

子ども一人ひとりの潜在能力や可能性を 最大限に引き出す教育が求められている



「そもそも教育って何だろう?」





「国・社会」

の視点

「個人」

の視点

「個人」の視点

一人ひとりが幸せに(不幸にならずに)生きてほしい

「幸せ」or「不幸せではない」ってどんな状態?

自分の意志で 物事を決められる やりたいことを やれる 自分の強みを 価値に変えられる

自分の居場所を 感じられる 大事な人が そばにいる

1時間目の内容

Part 01

「そもそも教育って何だろう?」



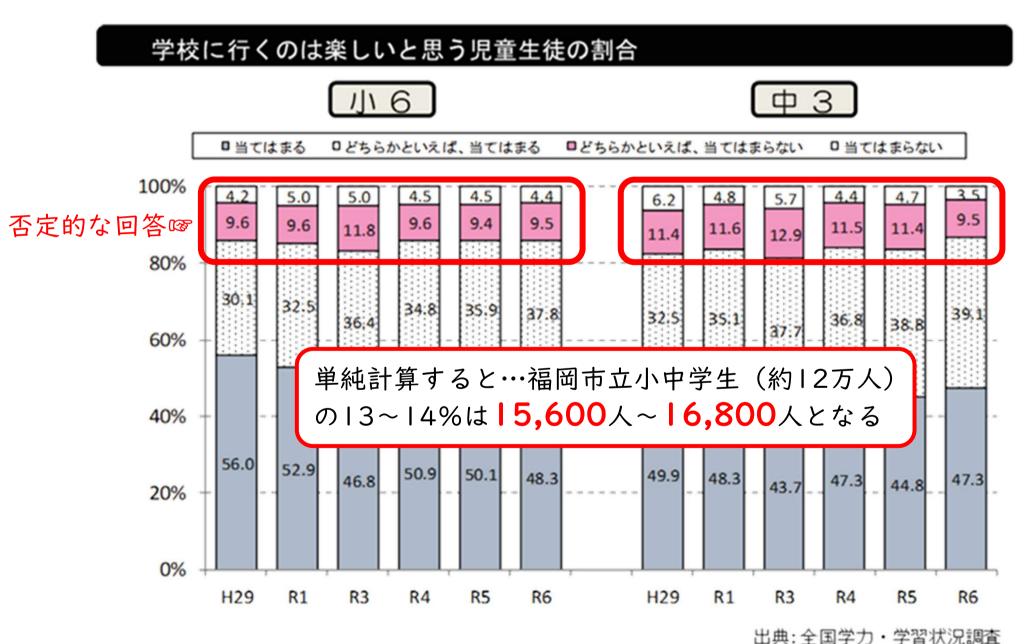
福岡市の学校教育の「いま」



どんな改革ビジョンを描いているのか

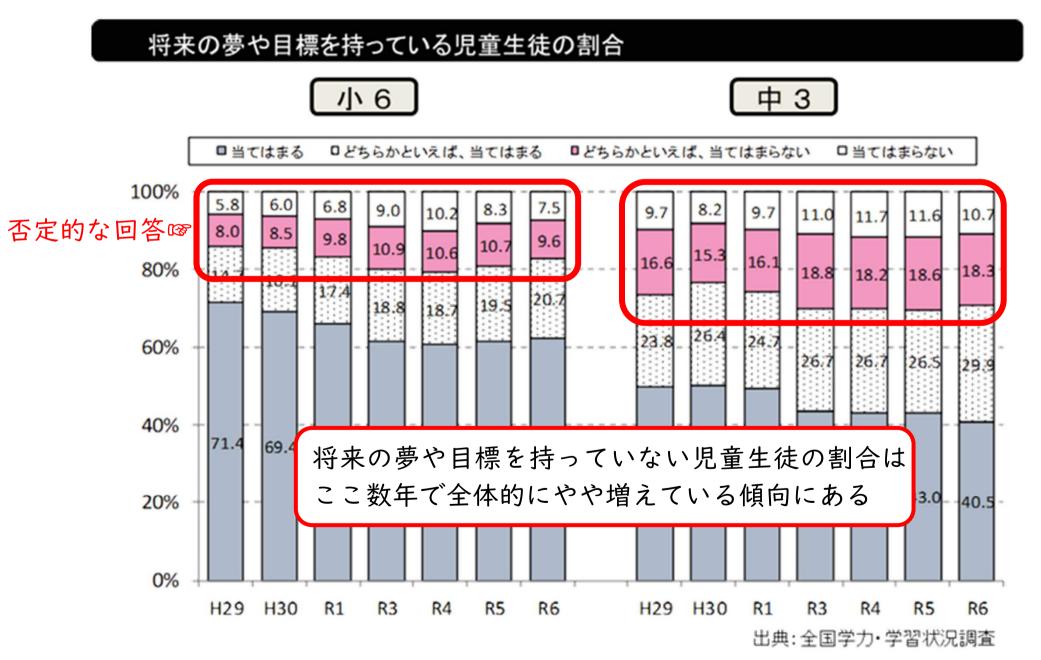
学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合

(「第3次福岡市教育振興基本計画(原案)」P.30より引用)



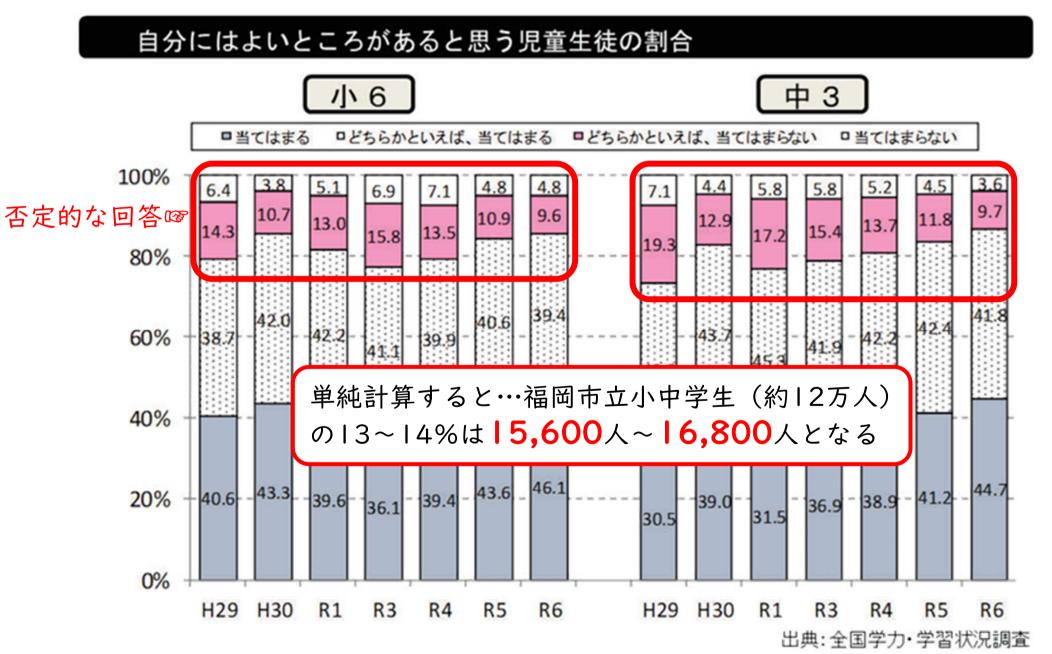
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合

(「第3次福岡市教育振興基本計画(原案)」P.32より引用)

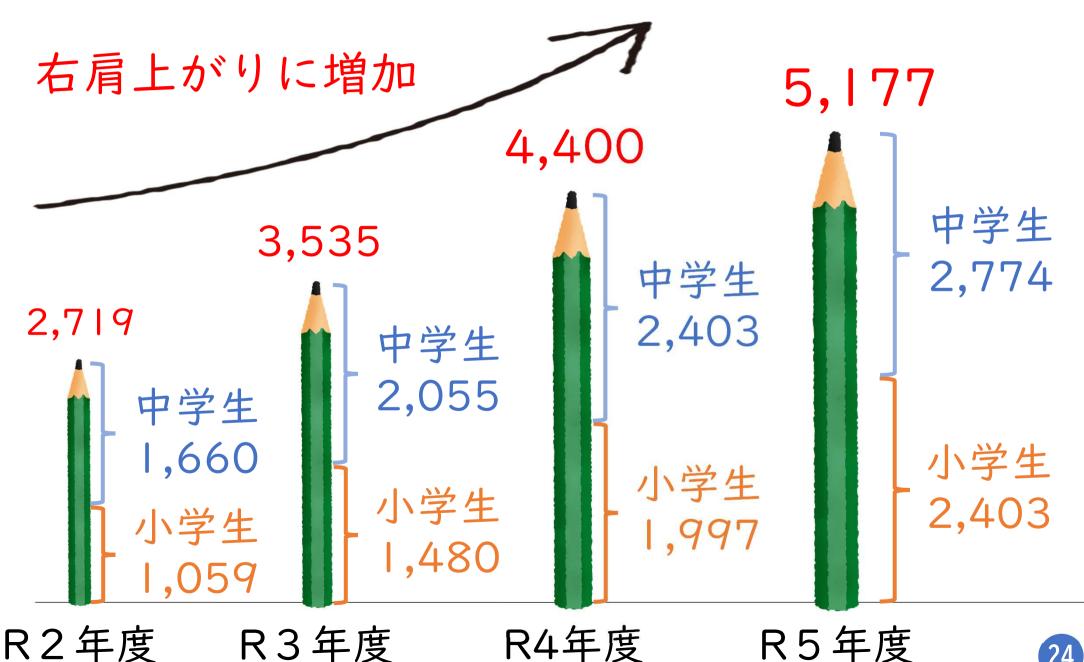


自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合

(「第3次福岡市教育振興基本計画(原案)」P.33より引用)



福岡市の不登校児童生徒の数



24

そんな今だからこそ、求められる教育とは…

現状生まれている問題や不満の裏返しとなる教育

自分の将来に夢や 希望を感じられる 学校が楽しい 学校に行きたい

学校に行く意味を 見出せる

自分の居場所を 感じられる 自己肯定感を 持つことができる





「国・社会」の視点からも

「個人」の視点からも

「学校教育」というものを 抜本的に改革しなければならない 実は…

「個に応じた指導」の重要性は50年以上も前から言われている

(参考) 1971年の中央教育審議会の答申において 学校教育の在り方については、画一を避け、 「個人の特性に応じた教育方法によって指導できる ように改善しなければならない」と指摘された。 最近よく耳にする

「令和の日本型学校教育」という概念の中でも

指導の

個別化

学習の

個性化

が必要であると説かれている

指導の個別化

子ども一人ひとりの特性や 学習進度、学習到達度等に応じて、 指導方法、教材や学習時間等の 柔軟な提供・設定を行うこと

学習の 個性化 教師が子ども一人ひとりに応じた 学習活動や学習課題に取り組む機会を 提供することで自らの学習が最適と なるよう子ども自身が調整すること 指導の

個別化

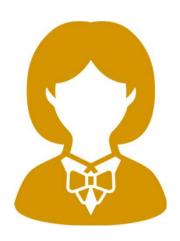
学習の

個性化

X







「個別最適な学び」









「理解度」や「習熟度」といった 表面的なレベルでの個別最適化

一人ひとりの興味・関心等に応じた 主体的で深い学びを目指す

"個別最適化教育"

教育とは、

桶を満たすことではなく

火を灯すことである

(W·B·イェイツ アイルランドの詩人・劇作家)



「桶を満たす」

決まった知識や技能を 教科書や教師の頭の中から 子どもたちの頭の中へ注入する



「火を灯す」

学ぼうとする意欲を喚起し 主体的に学び続ける力を身に付ける "学び方を学ぶ"

"自分はどう生きるか"

Question

時間を忘れて

何かに熱中したことはありますか?

私たちが最も深く学びに向かうのは…

自分の「好きなこと」や 「やりたいこと」をやっているとき

> 自分が今やっていることに 意味があると感じるとき

そういった本質的なところまで しっかりと目を向けた上で

子ども一人ひとりに応じた

個別最適化教育への抜本的転換を

進めないと意味がない

教育分野を抜本的に改革するのは 本当に大変なこと

"いばらの道"

なぜ、そんな大変な教育改革に 真正面から取り組んでいるのか?

教育改革に取り組む理由

「危機感」

「やるせなさ」

なぜ「福岡市議会議員」なのか

福岡市における教育改革を 一つのモデルケースとして 全国に波及(展開)させる 福岡から、この国を立て直す

1時間目の内容

Part 01

「そもそも教育って何だろう?」

Part 02

福岡市の学校教育の「いま」

Part

どんな改革ビジョンを描いているのか





福岡市の教育の

「何を」「どのように」

変えたいのか





教育改革Vision



一斉型の授業に代表される画一的な"全員同じ教育" (全員同じ内容を 同じ教材・テーマで 同じペースで学ぶ)

子ども一人ひとりの興味・関心等に応じて意欲を高め 潜在能力や可能性を最大限に引き出す"個別最適化教育"



知識を一方的に伝達する"チョーク&トーク"スタイル (心身ともに業務負担が重く、コア業務に専念できない)

一人ひとりに最適な学びを調整する"学びの伴走者" (子どもと向き合う時間や授業準備の時間を十分に確保)49

01

「全員同じ教育」から「個別最適化教育」へ

(1) 自分に合った方法で学ぶスタイルへの転換



教師の役割

チョーク&トーク Style

教科書の板書や説明を通じて一斉授業を行う

学びの伴走者 Style

教室内を回って子どもたちの状況を丁寧に観察し 一人ひとりに合った学びのサポートを行う

子どもの学び

決められた方法ではなく自分に合った方法で学ぶ

- ・学習ペース ▶ ゆっくり てきぱき じっくり ···etc
- ・学習教材 ▶ 教科書 学習アプリ 動画 本 ···etc
- ・学習テーマ ▶ 自分が興味のあるテーマ(自由)
- ・学習方法 ▶ 友だちと話し合う 一人で黙々と …etc



01

「全員同じ教育」から「個別最適化教育」へ

(I) 自分に合った方法で学ぶスタイルへの転換(多様な学び方の例)

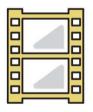
学習テーマ 英語の語学力を伸ばそう

№ № 特 徴: 暗記が苦手で勉強も嫌いなAさん

世界的な歌姫の曲を聴くことが大好き

学び方: ヒット曲集の歌詞を分析して

英単語や英文法を学ぶ



特 徴: 教科書を読んでも頭に入らないBさん

映画なら何時間でも観ていられる

学び方: ハリウッド映画を英語の音声・字幕で

観て発音やリスニングの力を鍛える

学習テーマ 世界の地理や文化、歴史を学ぼう



ト 徴: 机に向かって勉強するのが嫌いなCさん

一日中好きなサッカーのことを考えたい

学び方: ワールドカップ優勝国の地理や文化、

歴史を調べてその強さの秘密を探る



特 徴: 昔から知的好奇心が旺盛なDさん

将来の夢は世界一周旅行

学び方: 訪れたい国の気候や風土などを調べて

実際に世界一周旅行の計画を立てる

学習テーマ

かけ算の概念を理解して使いこなそう



子どもたちの多様な発達段階に応じて 教室を4つの「学習コーナー」に分ける



自分の興味・関心や学習意欲等に応じて 自分で選んだ「学習コーナー」で学ぶ



教室を回り一人ひとりの様子を見ながら それぞれの状況に応じたサポートを行う ① 教師から教わるコーナー



初歩的な概念を 対面・動画等で 教師から教わる ② トレーニングコーナー

テキストや アプリ等を使って 計算の練習を積む



③ お店屋さんコーナー



店員または客の 役割に分かれて かけ算を使う ④ プロジェクトコーナー

算数を応用した プロジェクトに グループで取り組む



「全員同じ教育」から「個別最適化教育」へ

(2)評価制度やカリキュラムの見直し

Point ① 評価の「考え方」の見直し

- 特定の時期に、特定の能力がどの程度あるかは人によってバラバラです
- 評価の「考え方」を根本的に見直します

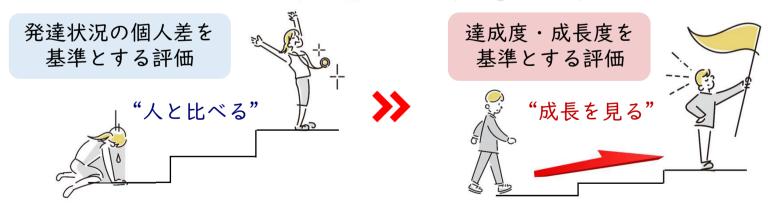
人と比べてどの程度できるか (できないか) を測るもの



次にどのように学ぶのがよいか を考える材料となるもの

Point ② 評価の「基準」の見直し

- 子どもたちはそれぞれスタート地点も違えば、発達のスピードも違います
- → 一人ひとりの絶対的な「達成度」や「成長度」を基準とする評価へ改めます。



Point ③ 評価の「方針」の見直し

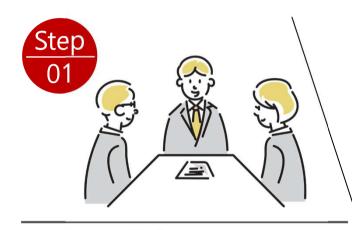
- 正解のない問題に溢れる実社会で求められるのは、並外れた能力や斬新な発想です
- 「人と比べてできない点を埋める」から「得意なことを伸ばす」方針に転換します 52

■ 「全員同じ教育」から「個別最適化教育」へ

(2)評価制度やカリキュラムの見直し

Point ④ カリキュラムの見直し

・「教科書をカバーする」ためではなく「一人ひとりを伸ばす」ためのカリキュラムへ



個別最適化された カリキュラムの作成

子ども・保護者・教師の三者で話し合い、その子の興味・関心や特徴等を踏まえた学習計画(=カリキュラム)を作成 /





一人ひとりに合わせた 学習サポート

教師は自分に合った方法で学ぶ 子どもに寄り添って、主体的に 学ぶために必要な学習サポート (助言・提案等)を行う



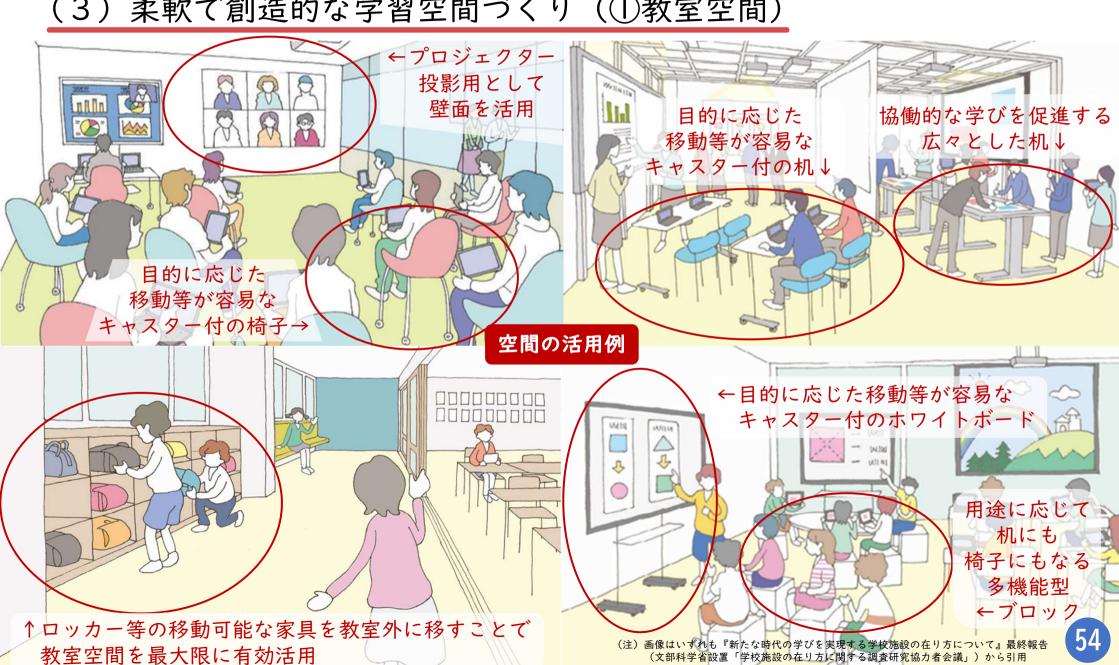
定期的な評価に基く カリキュラムの更新

当初の目標への到達状況や成長 度等を定期的に確認した上で、 その評価を踏まえて次にどのよ うに学ぶのがよいかを考える /

全ての子どもたちが、自分に合った"特別な支援"を必要としています

「全員同じ教育」から「個別最適化教育」へ

(3)柔軟で創造的な学習空間づくり(①教室空間)



1 「全員同じ教育」から「個別最適化教育」へ

- (3) 柔軟で創造的な学習空間づくり(②学校全体)
 - ・学校全体を学びの空間として捉え直し、設計デザインを刷新します
- (注) 画像はいずれも『新たな時代の学びを実現する学校 施設の在り方について』最終報告(文部科学 「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」)



↑隣接する多目的スペースとの連動性・一体性



↑読書・学習・情報のセンターとしての図書館



↑どの教室からも利用しやすい図書館の配置







↑高度な学びを誘発する教室と連続した空間活用

↑発表・表現の場としての階段状の空間の活用

↑インクルーシブ教育を可能とする空間設計●

(1) "自分事としての学び"の充実

・私たちが最もよく学ぶのは、自分のしていることに興味を持っていて選ぶことができるとき、 自分のしていることに意味があり重要なものであるとき、自分のしていることが"リアル"で あり価値があるときです。

Case 01

民主主義の考え方を理解するとともに 選挙の仕組みや重要性等について学ぶ ナーマ

自分たちが暮らす街の歴史を知り、 街の特色(文化・産業)について学ぶ



教科書や参考書等を使いながら 民主主義の定義や選挙制度の仕組み、 投票することの必要性・重要性等の知識を "教科書の中のこと"として学ぶ 従来の学び

ル

学

 \mathcal{O}

例

教科書や参考書等を使いながら 周辺との交流を通じた街の発展の経緯や 特産品や文化遺産、地場産業等の知識を "教科書の中のこと"として学ぶ

自分たちの社会(=学校)のルール(=校則) を自分たちで決める選挙を実際に校内で実施



あの候補者の主張には 賛成できないけど 立候補する勇気ないし どうしよう…



給食を残した生徒への 罰則適用を約束します!

対抗馬がいないと マズいから 含 立候補するわ!

るわ! (この) こついて

民主主義の特性や投票の意義等について "自分事"として学ぶ 地元の博物館と協力して展示用パネルを作成し、 実際に博物館で一般客向けの公開展示を行う







自分のしていること(学び)に意味を見出し "自分事"として学ぶ

(2) "自分の将来に繋がる学び"の充実

- 1. 「学校」とは、社会で自分らしく生きていくために必要な知識・技能を手に入れる ための場所である
- 2. リアルな社会では、様々な出来事が「教科」に分けられることなく、相互に、かつ 複雑に関係し合っている
- 3. その子が興味を抱く特定のことだけを学んだとしても、広さより深さを追及すれば その子の中に学習した内容はしっかりと定着する (→ 自分が望むように生きていくために必要な知識・技能を十分身につけられる)
- 4. 子ども一人ひとりの学びたいという気持ちと能力を尊重すれば、子どもたちは 大人が与える影響とは関係なく学び続ける (→ なぜなら、学ぶことそのものがその子の生き方となるから)

"広く浅く"多くのテーマを扱っている「総合的な学習の時間」を大胆に改編し、

年間75時間(※)の半分以上を「キャリアデザイン」の時間とします

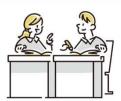


自分の好きな テーマを決めて (夢・職業・趣味···etc)



自分で調べたり

仲間と話したり



実際に体験しながら

学ぶ力を身につける

(2)"自分の将来に繋がる学び"の充実

「キャリアデザイン」

の時間の取組例

テーマ: 走るフォームと足の速さの関係性

式: 陸上部のAさんと友人のBさんのペア

夢はオリンピックの金メダリスト スポーツ身体科学に興味がある

法: 世界のトップランナーの走法を動画で研究



実際のAさんの走るフォームをBさんが撮影

プロ陸上チームのコーチの協力の下 フォームチェック&改善を繰り返す

計測結果や研究の成果をまとめるの

テーマ: 知らないと損する世界のご当地グルメの数々

式: 料理が得意なCさんによる単独の取組

世界各地のご当地グルメに興味津々

方 法: 世界の料理を動画やインターネットで研究

実際に料理を作りながら製法を習得する



それぞれの地域におけるその料理の 位置付けや歴史等について調べる

デジタル料理本を完成させる

テーマ: 自作ロケットはどこまで高く飛べるのか

式: Dさん・Eさん・Fさんの3人グループ

宇宙に興味がある 理系科目が得意 ものづくりが好き

法: ロケットの仕組みを書籍や動画等で研究

身近にあるモノを使って設計図を作る

実際にロケットを組み立てて 発射実験と改良を繰り返す

計測結果や研究の成果をまとめる

テーマ: ダメ、ゼッタイ。~いじめがもたらすもの~

式: 7人グループによる一大プロジェクト

脚本や演技に興味のある面々

方 法: いじめについて経験談を交えて話し合う

脚本が得意なGさんを中心に台本を作成

演劇部のHさんや俳優志望のIさんから 教わりながら7人で演技の練習を重ねる

いじめを題材とした演劇を披露する

(3)"実社会に繋がる学び"の充実

• 地域人材をはじめとする実社会の多様な資源(ヒト・モノ)と学校を有機的に結びつける システムを構築します

教育委員会

プラットフォーム

実社会の多様な資源 (リアル資源)



意見 要望

協力者 の開拓 授業 づくり の支援

子どもたちに

分析

伝えたいことや 教えられること

(知識・技能等)

精查

分析 精査

子どもたちが

学びたいことや

身につけたいこと

(知識・技能等)

クラウドシステム

・タグ検索による目的に応じた検索が可能 (校種/学年/科目/単元/学びの要素)

#社会科 #伝統芸能 #モノづくり など

- ・リアル資源の連絡先等の情報だけでなく どのような学びを得られるか等も掲載
- ・映像や音声、文献等の多様なコンテンツ



意見 要望

専門家に来てもらえたら 最先端の話が聞けるなぁ

ニーズ の把握

体験しながら 学んでほしい

授業や 学びに 利活用

(利活用の例(1))

∞ ゲストティーチャー による授業

(利活用の例②)

一人ひとりに 合った教材利用



ホンモノに触れる質の高い教育サービスを子どもたちに提供します

■ 教員が力を発揮できる環境整備

(1) 教員が担う業務の徹底的な整理・適正化

Step 01

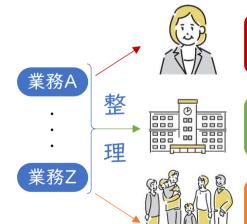
教員が担っている業務全体の洗い出し

➡ 教員が担っている一つひとつの業務の内容(目的・方法等)や所要時間等について洗い出しを行います

Step 02

教育委員会における各業務の徹底的な整理(分類・役割の明確化)

➡ 教員委員会において各業務の教育的意義や費用対効果等を踏まえた整理(分類・役割の明確化)を行います



教員が担うべき業務

教員としての強み(専門性等)を発揮すべく業務の"選択" と"集中"を行うとともに負担軽減や効率化等も進めます

(教員が担う必要のない) 学校が担うべき業務 各業務の性質・内容等を踏まえて教員以外の主体(事務員、 サポートスタッフ、大学生等)の協力・活用を促進します

学校以外が 担うべき業務 各家庭や地域社会との丁寧な合意形成や連携体制の構築を 通じ、教育機関としての学校が果たす機能の強化を図ります

Step 03

各学校における業務の整理・適正化

➡ 教員委員会が示す枠組みをベースに、各学校において実情等を踏まえた業務の整理・適正化を行います



目の前の子ども一人ひとりの「伴走者」として教員が力を発揮できる環境の実現

➡ 個別最適化教育の実践に必要な知識・技能の修得・研鑽や子どもと向き合うために必要な時間を確保

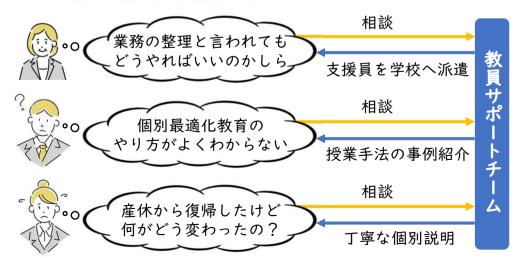
13 教員が力を発揮できる環境整備

(2) 教員の資質・能力の向上・活性化

- 個別最適化教育の実践には、単なる新しい授業手法の導入だけでなく、時代背景に即した深い教育観や 目の前の子ども一人ひとりの状況を把握する力(=学級経営力)が前提となります
 - ⇒ 教職に携わる一人ひとりのニーズ(=各段階・状況に応じて求められる知識・技能等の修得・研鑽)に応えるための個別最適な支援を通じて、教員の資質・能力の向上・活性化を図ります。

01 教員サポートチームの発足

- 教育委員会内に「教員サポートチーム」を設置 (教員経験者を中心として構成)
- 学校単位・個人単位による相談を受け付け、 個別最適な支援を行う



□2│教員同士の学び合いの支援

- 公開授業の開催頻度の増加や規模の拡大により 個別最適化教育の普及や理解促進を図る 🔗
- 教員個人の授業視察等の奨励 (可能な限り公務として他校の 視察を認めるよう所属長へ通達)

03 知見や情報の共有・フィードバック

各学校・教員への共有・フィードバックの例

- 国内外の先進事例の研究内容
- 個別最適化教育の効果検証結果 (研究機関や民間企業等と連携)



子どもたちだけでなく教員も一人ひとり学び、成長できる環境 をつくります

2時間目の内容



福岡市の教育の「何が」「どのように」変わるのか



どのようにして変えたのか



「これから」必要なこと



福岡市の教育の「何が」「どのように」変わるのか



これまで

「第2次福岡市教育振興基本計画」

めざす子ども像(教育の目標)

やさしさとたくましさをもち ともに学び未来を創り出す子ども

福岡スタンダード

~福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと~

生活習慣の柱

あいさつ・掃除

学びの柱

自学・とも学

未来への柱

チャレンジ・立志

これから

「第3次福岡市教育振興基本計画(原案)」※ 本年6月策定予定

目指す

人間像

自分の可能性を信じ、様々な変化や困難に 主体的に向き合い、他者と力を合わせ、 豊かな人生やよりよい社会を切り拓く人

身に付けて ほしい力

自ら学ぶカ

他者と 協働する力 未来をつくる力

基本方針(大切にしていくこと)

教員の資質

・意欲の向上

安全・安心な教育環境の整備

子どもを主体とした 学びの推進 多様な教育ニーズ への対応

地域連携の推進・ 家庭教育の支援

キーワード①:「自ら学ぶ力」

· 自ら問いや目標を持ち、見通しや計画を立てる

・ 学ぶ環境(人・空間・時間)を選択・決定し、 進んで追究する

・学んだことを振り返り、新たな学びにつなげる

自分に合った相手から学ぶ

対面/動画/オンライン 教え合う/議論する

― 教師から学ぶ ― 友だちと学び合う

実社会から学ぶ

講師/職場体験/動画

空

間

自分に合った方法で学ぶ

好きな場所で学ぶ

好きなテーマで学ぶ

好きなツールで学ぶ

時

自分に合ったペースで学ぶ

間

自分が理解できる ペースでゆっくり

進めるところまで てきぱきと

納得するまで じっくりと

キーワード③:「子どもを主体とした学び」

~「第3次福岡市教育振興基本計画(原案)」より抜粋~

「これまでの一斉型の授業に代表されるような

受動的な学びから、自ら問いや目標を持ち、

試行錯誤しながら学びを調整し、解決し、

次の学びに向かう自律的な学びへと

転換していく必要があります。」



キーワード③:「子どもを主体とした学び」

~「第3次福岡市教育振興基本計画(原案)」より抜粋~

「教員は学習者主体の視点を意識し、

子ども一人ひとりの可能性を引き出し、

学びを支える伴走者として、

学びに必要な人や空間・時間などを

整えていくことが求められます。」



■3 教員が力を発揮できる環境整備 ※再掲

(1) 教員が担う業務の徹底的な整理・適正化

Step 01

教員が担っている業務全体の洗い出し

➡ 教員が担っている一つひとつの業務の内容(目的・方法等)や所要時間等について洗い出しを行います

Step 02

教育委員会における各業務の徹底的な整理(分類・役割の明確化)

➡ 教員委員会において各業務の教育的意義や費用対効果等を踏まえた整理(分類・役割の明確化)を行います



教員が担うべき業務

教員としての強み(専門性等)を発揮すべく業務の"選択" と"集中"を行うとともに負担軽減や効率化等も進めます

整理學學

(教員が担う必要のない) 学校が担うべき業務 各業務の性質・内容等を踏まえて教員以外の主体(事務員、 サポートスタッフ、大学生等)の協力・活用を促進します

業務Z

学校以外が 担うべき業務 各家庭や地域社会との丁寧な合意形成や連携体制の構築を 通じ、教育機関としての学校が果たす機能の強化を図ります

Step 03

各学校における業務の整理・適正化

⇒ 教員委員会が示す枠組みをベースに、各学校において実情等を踏まえた業務の整理・適正化を行います



目の前の子ども一人ひとりの「伴走者」として教員が力を発揮できる環境の実現

➡ 個別最適化教育の実践に必要な知識・技能の修得・研鑽や子どもと向き合うために必要な時間を確保

2時間目の内容

Part 01

福岡市の教育の「何が」「どのように」変わるのか

Part 02

どのようにして変えたのか



「これから」必要なこと

教育方針の大転換に導いた

7 つのキーワード

議会質問

- ・本会議
- ・教育こども委員会
- · 条例予算特別委員会
- ・ 決算特別委員会 など



議会質問を通じて

げんち

具体的な「言質」を引き出す



2023.9.6 一般質問

(目指す教育の具体的ビジョンを説明した上で) まさにこうした姿こそ、生徒一人一人の潜在能力 を最大化させる上で理想的な教室、学校、教育の 姿だと考えていますが、この個別最適化教育にお ける子どもの学び、教師が果たす役割の在り方に ついてどのような御所見をお持ちでしょうか。

(前略)子どもの主体的な学びのサポーターとして、一人一人の興味、関心、意欲などを踏まえてきめ細やかに支援することや、ファシリテーターとして多様な他者との協働を促していくことが重要になると考えております。今後さらに、子ども一人一人の興味、関心等に応じ、意欲を高め、深い学びの実現につながる取組を進めてまいります。



教育長



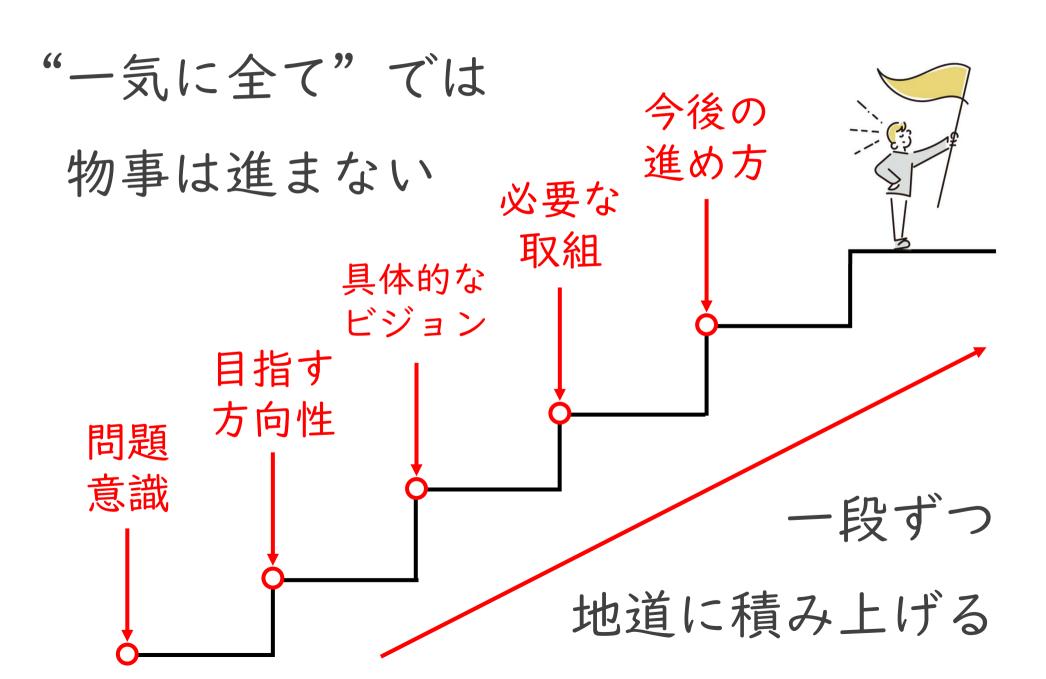
2024.6.17 一般質問

学校と実社会をつなぐシステムを構築して、社会で活躍する個人や団体等のいわゆる専門家による質の高い授業を積極的に導入することは(中略)リアルな学びの充実につながるとともに(中略)教員の働き方改革にも大きく寄与するものと考えていますが、教育長の具体的な御所見を伺います。

(これまでの認識や取組内容を説明した上で) 今後、さらに業種や人材に関する幅広い情報を収 集、整理して一元化し、地域や企業、公的機関な どとの連携により様々な外部人材や地域社会の資 源を選択、活用できるようにすることで児童生徒 が社会とのつながりを実感できる取組の強化に努 めてまいります。



教育長



個 別 協 議

【いつ】議会の閉会中など

【誰と】主に課長級職員



議会答弁などを踏まえて

「細部」を詰める

(具体的な取組内容、スケジュールなど)

教育委員会との個別協議

 2023年5月 2024年2月
 計 35回 1575分

 2024年3月 2025年2月
 計 62回 3230分

※ 合計回数は議論を行ったテーマ毎に計上

キーワード②:「すり合わせ(確認)」

どこまで一致していて、どこが一致していないのか 一つずつ順序立てて**すり合わせ(確認)**を行う

目指すビジョン

課題認識

キーワード③:「ビジョンの可視化と共有」

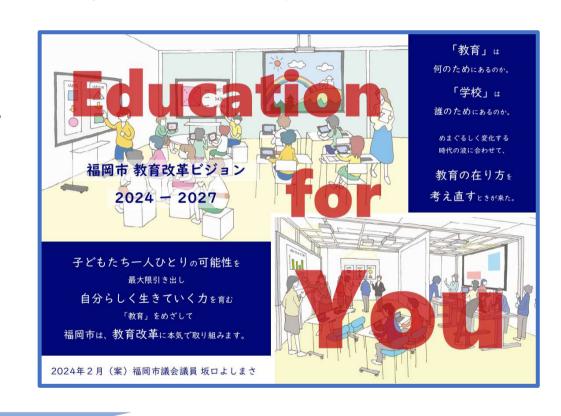
可視化 = 具体化·明確化



キーワード③:「ビジョンの可視化と共有」

ビジョン (構想) の共有

教育改革の必要性や意義、 具体的な改革ビジョン等を わかりやすくまとめた冊子 を作成(2024年2月)



教育委員会(教育長から課長級職員まで)や同僚議員(全員)に配布してビジョンを共有

キーワード④:「信頼関係の構築」

対等な関係性

(×上下関係)

お互いの尊重

(立場・強み)



相手の意見や考えを理解する

(理解しようとする)姿勢が大事

キーワード⑤:「パッション(情熱)」



キーワード⑥:「周りの力を借りる」

己の身一つで経験できることには限りがある

+

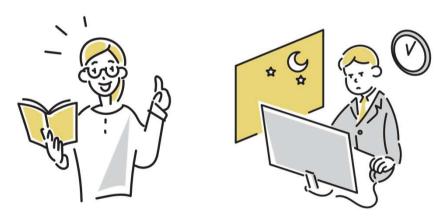
それぞれの立場で経験できることや そこから得られる気づきや学びは異なる

現場視察 自分の 考え 意見交換

キーワード⑦:「単語でひとくくりにしない」



「学校」



「教員」





「保護者」

単語でまとめて 全てをわかった気にならない



2時間目の内容

Part 01

福岡市の教育の「何が」「どのように」変わるのか

Part 02

どのようにして変えたのか

Part 03

「これから」必要なこと



全市一斉の改革は非現実的

まずは「モデル校」から導入

成果や効果の検証を行う

検証結果も踏まえて全市展開

「モデル校」

小 学 校

赤坂小学校

草ヶ江小学校

西戸崎小学校

野多目小学校

東吉塚小学校

中学校

板付中学校 福岡中学校

高

校

西陵高校 福翔高校

特別支援学校

清水高等学園



「これから」必要なこと ②:「教員の働き方改革」



教育委員会

- ・働き方改革の取組の見通しを示す
- ・ 調査を通じて取組の成果を把握 (子どもと向き合う時間がどれくらい増えたかなど)
- ・取組の内容や成果を教員に共有



各学校

- ・業務の分類・整理を行う
- ・業務の改善・効率化を進める
- ・教員一人ひとりの意識改革



Part | 「これから」必要なこと ③: 「教員の養成・育成」

一人ひとりの可能性を最大限に引き出す 個別最適化教育とは何か、何が大切なのか、 教員一人ひとりがしっかりと理解する

> 若手教員からベテラン教員まで すべての教員が "実践の壁"を乗り越える



「これから」必要なこと ③:「教員の養成・育成」

"実践の壁"を乗り越えるための今後の取組

(2025.3.6 坂口よしまさ個人質疑における教育長答弁)

- 教育委員会が指定したモデル校や各教科の先進的な実践校による公開授業の回数を充実させる
- ・指導主事などの各学校への派遣をさらに進める
- ・教員が校外の研修等で学ぶことの重要性を改めて 管理職に周知徹底し、教員が主体的に様々な研修に 参加しやすい環境づくりに努めていく



「これから」必要なこと ③:「教員の養成・育成」

"実践の壁"を乗り越えるための今後の取組

(2025.3.24 坂口よしまさ総会質疑における教育長答弁)

- ・教員という職の魅力ややりがいについて現役教員の生の声で伝えるとともに、学校における働き方改革の取り組みによる成果をわかりやすく発信するなど、 教職に対するイメージの改善に資する広報を行う
- ・実践事例等の動画を学生に周知するとともに、学校現場 の負担に配慮しながら、本市の学校現場を見学する機会 の提供等について、本市と大学とで構成する教員養成 連携協議会で協議・検討を行っていく。



Part | 「これから」必要なこと ④:「リアルな学びの充実」

子ども一人ひとりの興味・関心等に応じて 自らの将来や実社会とのつながりを 実感しながら学べる環境を整える

学校と実社会をつなぐ

プラットフォームシステムを構築

02 "リアルな学び"の充実

(3) "実社会に繋がる学び"の充実

• 地域人材をはじめとする実社会の多様な資源(ヒト・モノ)と学校を有機的に結びつける システムを構築します 💮

教育委員会

実社会の多様な資源 (リアル資源)



意見 要望

協のが受べる者拓・業り援

プラットフォーム

子どもたちに 伝えたいことや 教えられること (知識・技能等) 子どもたちが 学びたいことや 身につけたいこと (知識・技能等)

 分析
 分析

 精査
 整理

 整理
 整理

クラウドシステム

・タグ検索による目的に応じた検索が可能 (校種/学年/科目/単元/学びの要素)

#社会科 #伝統芸能 #モノづくり など

- ・リアル資源の連絡先等の情報だけでなく どのような学びを得られるか等も掲載
- ・映像や音声、文献等の多様なコンテンツ

学校

専門家に来てもらえたら 最先端の話が聞けるなぁ

ニーズ の把握

意見

要望

授業や 学びに 利活用



(利活用の例①) ゲストティーチャー による授業

(利活用の例②)

一人ひとりに 合った教材利用



ホンモノ に触れる質の高い教育サービスを子どもたちに提供します

プラットフォームができたら何が変わる?



教

師

子

と

ŧ

Before

- ・社会情勢の変化等に伴う教育内容の増加 (例:金融・起業家・プログラミング教育…etc)
- ➡ 教師の負担増(特に小学校)
- ・外部講師の活用は教師個々の属人的な知識。 能力に依存(関連情報等が一元化されていない)
- ・学校での勉強が「次の学校に入るための知識 を覚えること」になってしまっているケース が多い
- ➡ 学校での学びが自分の将来や 身の回りの社会と繋がって いるという実感を抱きづらい
- ・暮らしを支える業界の存続危機や日常生活に 深くかかわる分野の最新の状況などを子ども たちに知ってもらう機会がなかなか無い
- ・学校と実社会を繋ぐパスが局所的かつ属人的 にしか構築されないケースが多く、子どもを 社会全体で育てる意識が醸成されにくい



・より少ない労力でより質の高い各界の専門家 と繋がることができ、子どもにリアルな学び を提供することができる

・自分に合った方法(興味・関心等に応じた 学習テーマ・教材など)による学びが可能 となり、自律的な深い学びが実現する

・リアルな学びを通じて自分の将来や 実社会との繋がりを実感することで 学校で学ぶ意義を感じられる

・プラットフォームを通じて学校と 繋がることで、子どもたちに仕事の魅力を 伝えたり認知や理解を広めたりできる

・学校と実社会との繋がりが市立学校全体で 構築されることで世代間の交流も促進され、 社会全体で教育を行う意識が醸成される

教 師

> 子 も





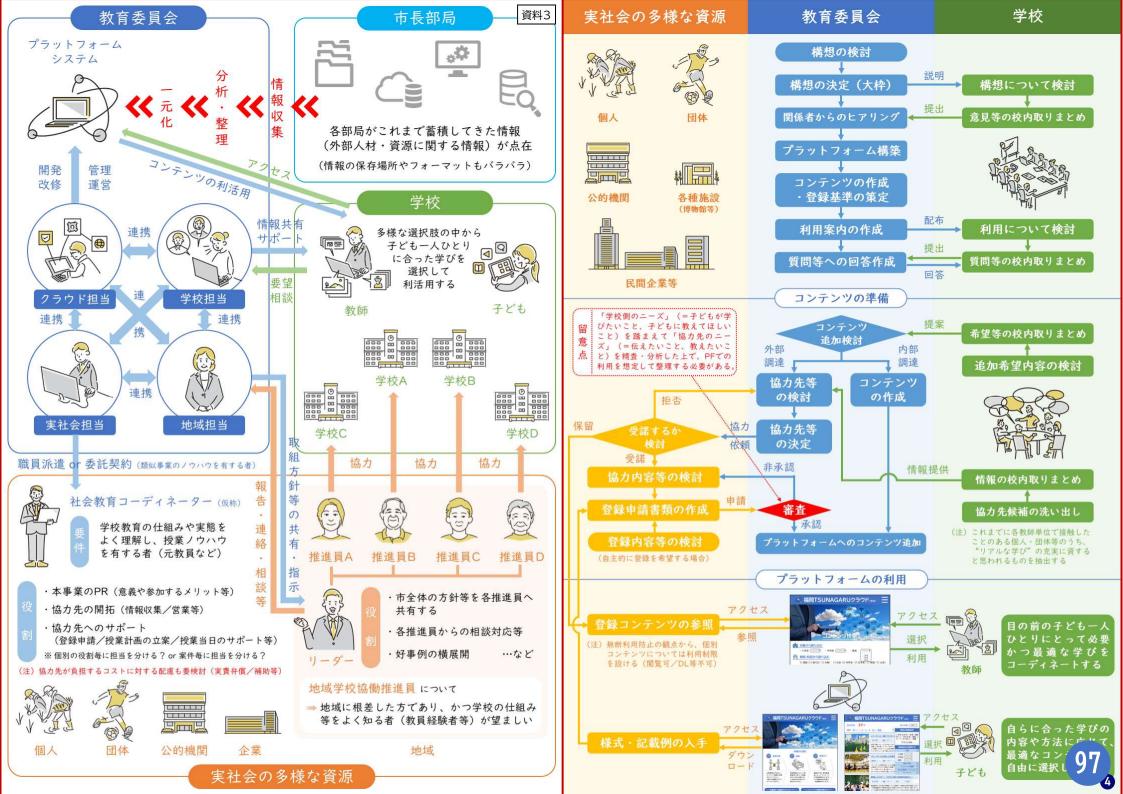








企



(注) 画像はいずれもイメージであり、実在する個人・団体・組織等とは一切関係がありません。

プラットフォームシステム(仮称)

最初 | 前へ | 1 | 2 | 3 | 4 | 次へ | 最後

現在の検索条件

表示件数: (10件 ▼)

Jリーガーと一緒にサッカー

運動・スポーツ

世界で最もプレー人口の多いスポー

小学校(全学年)/体育/講師 招へい/校外学習/運動・ス ポーツ/学ぶ楽しさ/健康…

田すべて見る



該当件数: 37件

が難しい足を使ってプレーするサップ 検索条件を変更する しく体験してみよう! 人工芝の専用: ドリブルやシュートまで楽しみながら

対象

· 小学校 (—— ▼ バレーボールの楽しさを教え 中学校(

講師招へい)(運動・スポーツ

· 高校 (—— ▼)

教科·科目

バレーボールは背が高い人しか活躍 は身長にかかわらず誰もが活躍で サーブを打ったり、真っ直ぐレシース めたりするコツを知れば楽しくなりま

コンテンツの種類 学びの要素(・ジャンル) ▼

キーワード



野球しようぜ!~プロから教わる野球の面白さ~

運動・スポーツ

プロ選手

普段選手たちが試合や練習している場所で、本場の空気を体感しながら プロ野球選手から野球の面白さを教わりませんか?投げる、捕る、打つと いった基本的な技術を伝授するだけでなく、みんなが気になるあんな疑 問やこんな疑問にも直接お答えします!



バスケを通じてスポーツの面白さを知ろう!

運動・スポーツ (バスケットボール) …

日本でもワールドカップが開催されたことで人気が高まっているバス ケットボール。目まぐるしく攻守が入れ替わるダイナミックかつエキサイ ティングなバスケを通じて、身体を動かすことの面白さを知ろう!選手た ちが優しく丁寧にバスケのルールやテクニックを教えます。

最初 | 前へ | 1 | 2 | 3 | 4 | 次へ | 最後

1~10件を表示



資料6

る

の

コ

ンテンツに

紐付

いるす

7 0

がポ

プアッ

プ画

面に表示され

(注) 画像はいずれもイメージであり、実在する個人・団体・組織等とは一切関係がありません。

プラットフォームシステム(仮称)



人の心を動かす漫画を描く ~漫画家という生き方~

文化

漫画・コミック(キャリア教育)



大人から子どもまで、時代を超えて人々の心を動かす作品がどのように して生み出されているのか。人気作品を次々と世に送り出してきたプロ の漫画家から、漫画の描き方だけでなく漫画家という生き方に至るまで 本音でお話します。

コンテンツ説明

授業の流れ(一例)

連絡先情報

コンテンツの詳細説明

プラットフォームシステム(仮称)



明太子の作り方と歴史を学ぶ工場見学

(食育)

第一次産業

丁場見学

なるほど!すごい!明太子のヒミツ、大公開! 明太子の原料ってナニ?どうやって作るの?いつ頃から食べられてる

の?そんな、知っているようで知らない明太子のヒミツと歴史を、楽しみ ながら味わってみませんか?

コンテンツ説明

授業の流れ(一例)

連絡先情報

授業の進め方 実際の授業風景 etc...

(※)授業実績が豊富な場合は、外部ページに 遷移するURLを掲載する方法でもOK。

プラットフォームのイメージ (その4)

(注)画像はいずれもイメージであり、実在する個人・団体・組織等とは一切関係がありません。

プラットフォームシステム(仮称)



男子陸上 短距離界のレジェンド ウサイン・ボルト

運動・スポーツ(陸上)(足が速くなる)

··· [+]

男子100mにおける世界記録保持者(9秒58)であるウサイン・ボルト氏 の歴代レースをまとめた動画です。

授業の流れ(一例)

連絡先情報

陸上部で短距離をやっていますが、頑張ってもタイム が縮まらずスランプに陥っていました。 そんなときにこの動画を見つけて、嫌いになりかけて

中学2年生 いた陸上がまた好きになりました。

運動会でリレーメンバーになった子どもたちから「足 が速くなりたい!」と相談され、試しに見せてみたとこ ろ、みんな目を輝かせながら食い入るように見ていま

小学校教師 した。やっぱり"ホンモノ"を見せるのが一番ですね。



陸上部のマネージャーです。

トップアスリートのフォームはとても参考になります。 将来スポーツ科学に関する仕事に就いて、アスリート 高校1年生 のサポートをしたいという夢もできました。



をしていた頃、総合の時間で好きなテーマで取り組ん でいいよと言ったら、「人類はどこまで速くなれるの

か」というテーマを決めて熱心に取り組んでいました。

授業中でも寝てばかりだったとある男子生徒の担任



プラットフォームシステム(仮称)



教育版 マインクラフト

学習ソフト (情報) (プログラミング (論理的思考力) … 田

マインクラフトは、3Dの立方体ブロックで構成された仮想空間の世界で、 ものづくりや冒険を楽しめるゲームです。子どもたちが協力して一つの建 造物を作り上げたり、課題解決型学習に活用したりと、様々なテーマ・方 法で楽しみながらプログラミング能力や想像力を育むことができます。

コンテンツ説明

授業の流れ(一例)

連絡先情報

連絡先情報

99

資料7

最後二本音



一人で見る夢は夢でしかない。

みんなで見る夢は

現実に変わる。

二清聴

ありがとうございました